

インパクトレポート

2022

IMPACT REPORT

野村アクア投資

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/株式

はじめに

このレポートは、「野村アクア投資」が環境や社会に与える影響についてご説明するインパクトレポートです。当ファンドの運用を行なうロベコ・スイス・エージェンシー社作成のインパクトレポートからの一部抜粋を含みます。

レポートを通じて、当ファンドのリターン、特に“社会的リターン”への取り組みをご紹介します。皆さまからの投資資金が、経済的な利益を生み出すだけでなく、社会の問題や課題の改善・解決を促す側面の貢献につながっていることについて、ご理解を深めていただければ幸いです。

水の惑星といわれる「地球」ですが、その97.5%は海水であり、実際に利用できる割合は0.01%と非常に限られた資源です。水資源が豊富な日本では、「水」問題を身近に感じることは難しいですが、世界では多くの人が水不足の問題に直面しています。

生きる上で不可欠な「水」をすべての人に届けるには・・・

「水」問題は、世界の持続的成長のための重要な課題です。

今後も責任ある機関投資家としてお客様の資産形成に貢献し、同時に持続可能で豊かな社会の実現を目指したいと考えております。

野村アセットマネジメント株式会社



ファンドの実質的な運用会社

ロベコ・スイス・エージーのご紹介

ROBEKO

The Investment Engineers

ロベコ・スイス・エージーはスイス・チューリッヒに本社を置く、サステナビリティ投資に特化した世界初の運用会社として1995年に設立されました。同社はサステナビリティ運用で高い評価を受けています。

ロベコSAMスマートESGスコア、ロベコSAM SDGスコア、ロベコSAMカントリーESGスコア、ロベコSAMジェンダー・スコア、ロベコSAM環境フットプリント・ツール・スコアなど、「ロベコSAM」の冠はESG関連スコアを指すブランドとしてグローバルに利用されています。

運用担当者のご紹介



ディーター・クッフェル
(リードポートフォリオマネージャー)

欧州系資産運用会社などを経て、2001年入社
水関連戦略を設定から一貫して担当、CFA

ロベコ・スイス・エージーの運用資産総額

約 **149.4** 億ユーロ (約 1 兆 9,540 億円) 2021 年 12 月末現在^{※1}

2022年2月、ロベコの日本法人ロベコ・ジャパンは、環境省が選定する「ESGファイナンス・アワード^{※2}」において、投資家部門銅賞を受賞しました。
一昨年の銀賞(環境大臣賞)、昨年の銅賞に続き、同アワード創設時から3年連続の受賞となります。

※2 ESG金融に積極的に取り組む金融機関や環境サステナブル経営に取り組む企業を評価・表彰。環境省が2019年度に創設したもので、ロベコ・ジャパンは最初の受賞者。

2020年受賞時のロベコジャパン代表取締役社長
(左) と小泉環境大臣



出所：ロベコ・スイス・エージーの情報提供等より野村アセットマネジメント作成
※1 運用資産残高のデータは同時点の為替レート(1ユーロ=130.38円)で円換算。

上記は、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオ構築プロセス

当ファンドは、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション(投資価値評価)、流動性等の観点から銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

世界の株式

成長が期待される水に関する投資分野

水処理

水質・分析

施設運営

建設・
エンジニアリング関連

当方は左記載の4つの投資分野に注目して投資を行いません。
なお、投資分野は見直される場合があります。

投資適格銘柄の選別

- 水関連事業からの売上比率
- 時価総額および流動性
- サステナビリティ評価

サステナビリティとは、

持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価しています。

ポートフォリオ構築

- バリュエーション評価
- リスクコントロール

バリュエーション評価においては、サステナビリティを考慮に入れたディスカウント・キャッシュフロー・モデルを活用します。

上記のポートフォリオ構築プロセスは、今後変更となる場合があります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

水関連企業への投資を通じて SDGs の達成に貢献

ファンドは水関連企業への投資を通じて、SDGsへの目標のうち、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」を中心に、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

<SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標・169のターゲットから構成されます>



「野村アクア投資」は、下記の関連分野への投資を通じて SDGs の達成に貢献します。

- ▶ 汚染された飲料水
- ▶ 水を媒介した疾患
- ▶ 老朽化した水インフラ
- ▶ 気候変動、洪水、干ばつ
- ▶ 急速な都市化・不平等な水アクセス
- ▶ 貧困と飢餓・不作・精製・消毒
- ▶ モニタリングと測定・品質保証
- ▶ 責任ある水の供給と抽出
- ▶ 水インフラのネットワーク
- ▶ 効率的な水の配分

上記はSDGs(持続可能な開発目標)の説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

社会へ与えるインパクト

当ファンドへの投資が与える水関連の社会的インパクトをご紹介します。(それぞれ100万円投資した場合の試算)



上記データは2021年12月末時点のものです。

出所:ロベコ・スイス・エージーの情報提供等より野村アセットマネジメント作成
インパクトの算出方法については、7ページをご参照ください。

4つの水ビジネス（投資分野）

野村アクア投資においては、以下4つの水ビジネス（投資分野）に注目して投資します。近年はAI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）などのテクノロジーを用いて、水に関する社会的課題を解決するためのソリューションを提供する企業が増加しています。

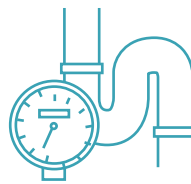
水を届ける

施設運営



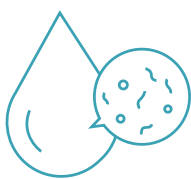
一般家庭などへの水の供給、排水サービスを提供

建設・エンジニアリング関連



水道管、配管設備、水路、水道メーター、水回りの住宅設備などを提供

水質・分析



汚染を測定するセンサーなど、水質分析に関する製品とサービスを提供

水処理



パルプ、ポンプ、統合水処理システム、水処理薬品、灌漑システムなどを提供

水をきれいにする

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。なお、投資分野は見直される場合があります。

水関連銘柄のご紹介 <水を届ける企業>

ユナイテッド・ユーティリティーズ・グループ <英国>

施設運営

企業概要

ユナイテッド・ユーティリティーズ・グループは英国のウォリントンに本社を置く、公益事業会社です。英国北西部で、規制事業の配電と上下水道網の管理・運営に従事しています。



健康、社会、環境へのコミットメント

英国の北西部にあたるカンブリア州のカーライルからチェシャー州の町クルーまで、自然・人間にとって安心して清潔な水の供給、処理を行ない、地域社会に貢献しています。

また、貯水池等の集水地域の周囲、56,000ヘクタール以上の土地を所有、管理しており、水の集水の段階からの品質管理を徹底しています。

達成したインパクト

同社の43,000kmのパイプネットワークを使用して、1日に約17億リットルのきれいな水を届けています。

300万世帯と20万の企業に24時間体制で水道と排水回収サービスを提供しています。

A.O. スミス <米国>

建設・エンジニアリング関連

企業概要

AOスミスは、米国の水質処理製品および住宅・商業用温水機器を扱うメーカーです。特に米国や中国での売り上げが大きく、浄水器を通じて人々にきれいな水を提供しています。



健康、社会、環境へのコミットメント

エネルギー効率の優れた給湯器や電気モーターを主力とし、RO(逆浸透)装置、硬水軟化装置、フィルター、商業用水処理装置など水質処理関連製品も手掛けています。積極的に事業展開している中国では、給湯器の売上シェアを伸ばし同国内最大手メーカーとなっています。エネルギー効率の高い給湯器と水処理製品は、社会の脱炭素化を背景に優位性が益々高まると見込まれています。

達成したインパクト

2019年、北米において同社のシステム等の提供により約5億8,520万リットルの飲料水がろ過されました。これは、約11億7,000万本のペットボトルの水に相当し、ペットボトルの使用量削減に貢献しました。

※ペットボトルの容量を1本あたり500mlと換算した場合)

出所：ロベコ・スイス・エージー提供データ、各社IR資料等をもとに野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、水関連企業の説明を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。銘柄の投資分野分類は変更になる場合があります。

水関連銘柄のご紹介 <水をきれいにする企業>

ペンテア <アイルランド>

水処理

企業概要

ペンテアはグローバルにビジネスを展開する水道会社です。住宅、商工業、インフラ、および農業向けにスマートで持続可能な水道ソリューションを幅広く提供しています。



健康、社会、環境へのコミットメント

企業や産業向けろ過およびフロー・ソリューションに加えて水処理や浄水ソリューションを提供しており、きれいな水を提供することで社会に貢献しています。

また、同社のプール事業は水を最も清潔な状態までろ過・浄化・消毒することが可能であり、エネルギー節約にも貢献しています。

達成したインパクト

同社の水処理プラントを通して**5億2500万リットル以上の飲料水を年間提供**しています。また、同社のプール用ポンプを使用することで2005年以来顧客は30億米ドルの運用コストを削減し、**270億キロワットのエネルギー節約に貢献**しました。

ダナハー <米国>

水質・分析

企業概要

ダナハーは計測装置と医療機器を取り扱うメーカーで、グローバルに水質検査、試薬、分析機器などを提供しています。また、コロナ禍においては抗体血液検査キットの開発・製造を通じて我々の生活に貢献しています。



健康、社会、環境へのコミットメント

同社は水を通じて世界中の生活の質を向上させることに貢献する企業です。環境効率の高い製品を提供することで、社会にインパクトを与えています。都市下水、飲料水、環境汚染物質処理、住宅用水処理、医薬品処理、半導体用途で使われる水の超精製等、幅広い産業にサービスを提供しています。

達成したインパクト

同社の紫外線処理システムは15万社超の企業と1.1万超の地方自治体に導入されており、**毎日2,660億リットルを超える飲料水の供給と排水処理**を行なっています。米国カリフォルニア州では、世界最大級の地下水補給システムで浄化された再生水を提供しています。

出所:ロベコ・スイス・エージー提供データ、各社IR資料等をもとに野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、水関連企業の説明を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。銘柄の投資分野分類は変更になる場合があります。

インパクトの算出方法について

インパクトの算出にあたっては2021年12月31日時点で当ファンドが投資していた企業のうちポートフォリオの市場価値の53.5%に相当する25社の集計値を使用しています。集計値は、当ファンドで投資している企業から取得可能なデータまたは取得可能なデータがない場合には推定値を作成して算出しています。2021年12月31日現在の投資先企業ごとの投資比率に応じて、その後1年間保有を続けた前提で当ファンドへの水に関する貢献度を測定しています。

インパクトの測定分野は以下となります。

- ・安全できれいな水の供給量
- ・廃水処理を行った水の量

各数値は年次報告書等各企業が公表している情報、政府機関組織、業界、NGOや学術等によって報告された統計や研究結果に加えてロベコのSIAナリストによる推計からデータを収集し、評価を行ないました。

当ファンドのインパクトは保有する株式に応じて変わる可能性があります。また、インパクトは推定値であるため、誤差が生じる場合があります。

ファンドの特色

1 世界の水関連企業(水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業)の株式を実質的な主要投資対象*とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※ファンドは、「野村アクア マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

2 株式への投資にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

- ・当面は、「水処理」、「水質・分析」、「施設運営」、「建設・エンジニアリング関連」の4つの投資分野に注目して投資を行ないます。なお、投資分野は見直される場合があります。
- ・サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。
- ・株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

3 マザーファンドの運用にあたっては、ロベコ・スイス・エージーに、株式等の運用の指図に関する権限を委託します。

4 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。

- ・「Aコース」は、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。なお、現地通貨による為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該現地通貨との連動性等を勘案し、先進主要国通貨等の通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合があります。
- ・「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》

株価変動リスク

ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。またファンドは、特定のテーマに絞った株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

為替変動リスク

「Bコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

「Aコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。なお、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。

*基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

●ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。

●資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

●ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

●有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

●投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

お申込みメモ

お申込みメモ

● 信託期間	2025年9月16日まで(2007年8月29日設定)
● 決算日および収益分配	年2回の毎決算日(原則、3月および9月の16日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
ご購入時	● ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	● ご購入代金 原則、ご購入申込日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いください。
	● ご購入単位 一般コース(分配金を受取るコース)：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース)：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位
*原則、ご購入後にコースの変更はできません。 *詳しくは、野村證券にお問い合わせください。	
ご換金時	● ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	● ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社にお支払いします。
	● ご換金制限 1日1件10億円を超えるご換金は行なえません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。
その他	● スwitching 「Aコース」「Bコース」間でswitchingが可能です。
	● お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下の休業日と同日の場合には、原則、ご購入、ご換金、switchingの各お申込みができません。 ・チューリッヒの銀行

当ファンドに係る費用／課税関係 他

当ファンドに係る費用 (2022年5月現在)

●ご購入時手数料

ご購入代金[※]に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額

ご購入代金	ご購入時手数料率
1億円未満	3.3%(税抜3.0%)
1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)
5億円以上	0.55%(税抜0.5%)

※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)
 <スイッチング時> ありません。

●運用管理費用(信託報酬) ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。

純資産総額に年1.76%(税抜年1.60%)の率を乗じて得た額

●その他の費用・手数料 ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)

- ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料
 - ・外貨建資産の保管等に要する費用
 - ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
 - ・ファンドに関する租税
- 等

●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)

1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

<当資料について>

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

<お申込みに際してのご留意事項>

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

野村證券

商号：野村證券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人金融先物取引業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

〈委託会社〉
 野村アセットマネジメント株式会社〔ファンドの運用の指図を行なう者〕

設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

〈受託会社〉
 野村信託銀行株式会社〔ファンドの財産の保管および管理を行なう者〕

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：
 野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル
 0120-753104
 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ
<http://www.nomura-am.co.jp/>

